



南丹パートナーズスクール事業(外国語) Nantan Partner School Program of Foreign Language



「南丹パートナーズスクール事業(外国語)」は、南丹管内の高校生と小学生が外国語による交流を行う事業です。小学生にとっては、「3・4年生から学んできた英語を使ってコミュニケーションを楽しむ場」として、高校生にとっては「これまで培ってきた英語力を教える側になって発揮する場」として、双方にとって価値のある交流の場となっています。

小学生は身近な先輩から学ぶことで将来に対する希望や関心を持ち、また、高校生は小学生へのアドバイスを通して日々の学習に対する自信や誇りを持つなど、校種を越えた連携を通して、「つながる学び」に取り組んでいます。

Greeting

令和7年12月18日(木)、京都府立園部高等学校グローバルアカデミックコースの2年生と、南丹市立殿田小学校及び胡麻郷小学校の6年生が、園部高等学校にて交流をしました。

はじめに、高校生から英語による歓迎の言葉が送られ、小学生も英語で挨拶を返しました。高校生が温かい笑顔で小学生を出迎え、互いに緊張しつつも、和やかな雰囲気の中で交流がスタートしました。



Keyword Game

ウォーミングアップは、「キーワードゲーム」から始まりました。はじめに高校生がALT(Assistant Language Teacher)と一緒に手本を示しました。

英単語絵カードを見ながら、ALTの読み上げる単語をリピートし、事前に設定したキーワードが読み上げられると、カードの上に置いてある消しゴムを素早くキャッチするゲームです。小学校で学んできた英単語(動物・フルーツ・野菜・月)を使ったゲームに、子どもたちもALT役に立候補し、楽しんでいました。



Simon Says Game

続いて、「サイモンセズゲーム」でさらに交流を深めました。ALTが英語で指示を出しますが、指示の前に“Simon says”(サイモンさんの命令です)が付いたときだけ動くことができます。“Simon says”が付いていない指示には従ってはいけません。スピードがだんだん速くなるにつれて難しくなりましたが、子どもたちは英語を瞬時に聞き取り、楽しそうにゲームに取り組んでいました。



Self-Introductions with Follow-up Questions

小学生と高校生が英語で自己紹介を行いました。事前にタブレットを使って、自己紹介の資料を準備し、それぞれグループに分かれて活動しました。好きなものや得意なことなどを紹介した後、さらに知りたいことを高校生が英語で質問すると、小学生はジェスチャーを交えながら、習った英語を使って自分の想いを伝えていました。高校生は、ゆっくり話したり、やさしい表現に言い換えたりしながら、小学生に伝わりやすい言い方を意識していました。アットホームな雰囲気の中で、どの子たちも積極的に活動に参加していました。



Thank You and Farewell

小学生は高校生のフォローを受けながら、これまでの学習の成果を生かして英語で伝える楽しさを実感することができました。さらに、高校生から高校生活や学校行事の様子を紹介してもらい、小学生が積極的に質問したり、コミュニケーションを取ったりする姿も見られました。

高校生にとっても、小学生に分かりやすい表現に言い換えたり、アドバイスをしたりしながら交流することで、自分自身の学びを深める有意義な時間となりました。また、小学生が高校生の姿に憧れを抱き、これからの学習への意欲を高めるきっかけにもなったように感じられました。

最後は、“Smile! Say cheese, everyone!”と一緒に記念写真を撮りました。

